“筋を通すこと、そして信念が大切…”

これは、有名なトヨタの社長がマスコミに対して話した『ロバの話』です。

ロバを連れながら、夫婦2人が歩いていると、こう言われます。

『ロバがいるのに、なぜ乗らないのか？』と。

また、ご主人がロバに乗って、奥様が歩いていると、こう言われるそうです。

『威張った旦那だ』。

奥様がロバに乗って、ご主人が歩いていると、こう言われるそうです。

『あの旦那さんは、奥様に頭が上がらない』。

夫婦そろってロバに乗っていると、こう言われるそうです。

『ロバがかわいそうだ』。

要は、言論の自由という名のもとに何をやっても批判する人が一定数いるということです。インターネット、SNSなどの投稿を見ると、顔が見えないことをいいことに好き勝手いう人はたくさんいます。否定、批判をして相手が困る、苦しむのを楽しんでいるのでは？と思うほどです。また、近年は、賛同、応援より否定されることが増えたような気がします。（その方が盛り上がるという人もいます）なんかいろいろな場面で、「言ったもん勝ち」、「ごね得」の風潮を感じて、自分はとても嫌な気分になります。言っていることが正しいかどうかの判断ではなく、誰が言ったことなのかとか、自分の考えと違うからなど、相手によって批判をしたり、自分の感情で否定したりすることも増えているように思います。とても残念で仕方がありません。これもSNSの影響が少なからずあるのではと感じています。

皆さんもいろいろな行事や部活動等で経験があると思いますが、物事を決めなくてはいけないとき、どのような判断をしても100%の人に納得してもらうことは難しいというか、ほとんどできないですね。そのような状況になったとき、皆さんはどうしますか？きっとすごく悩むと思います。自分は、そういう時に意識することは、「筋を通すこと」です。そこに根拠があればベストです。さらに自分がどうしたいかという信念を通すことです。この2つです。それでも自分の決めたことに対して、トヨタの社長がマスコミに対して話した『ロバの話』のように必ず誰かには否定、非難されますけど。

皆さんもこれから自分のこと、仲間のこと、将来（仕事）のことなどでいろいろなことを考えて判断することがあると思います。その時は、この『ロバの話』を思い出してみてください。そうすれば、まあ少しぐらいの批判は仕方がないなと思えるのではないのでしょうか？それに根拠もなく、感情だけで批判してくる意見に関しては全く聞く必要もなく、無視でいいと思います。（SNSの誹謗中傷など）ただ、自分が何かをしなくてはならない時は、根拠と信念は忘れないことが大切だと思います。頑張ってください。